

ビール類の販売動向（2020年9月分）

首題の件につき、下記の通りご連絡申し上げます。
 なお、本メモの表示数の算出根拠は「販売数量」で、「課税移出数量」ではありません。
 また、表示ケース数は大びん換算です。
 よろしくお取り計らいいただきますよう、お願い申し上げます。

記

- ビール・発泡酒・新ジャンル合計は前年比93%でした。
 - ・酒税税率改正前の駆け込み需要が発生したこともあり、新ジャンルカテゴリーは前年実績を大幅に上回りました。
 - ・夏場の感染再拡大の影響を受け、樽・びん商品が前年実績を下回りました。
- ビールカテゴリーは前年比75%でした。
 - ・黒ラベルブランド、エビスブランド共に樽・びん商品が苦戦し、前年実績を下回りました。
 - ・缶商品は酒税税率改正前の買い控えが発生したため、前年実績を下回りました。
 - ・黒ラベル単体の缶商品は1-9月で前年実績を大幅に上回っています。
- 新ジャンルカテゴリーは前年比136%でした。
 - ・「ソートップ戦略」が機能しており、「麦とホップ」は前年実績を下回りましたが、「サッポロ GOLD STAR」が引き続き好調に推移し、新ジャンルカテゴリーを牽引しました。
 - ・1-9月累計でも前年比130%となり、引き続き前年実績を大幅に上回っています。

<カテゴリー別販売状況>

	9月単月	累計
	前年比	前年比
ビール	75	78
発泡酒	76	82
新ジャンル	136	130
ビール類 合計	93	92

(単位:%)

<ブランド別販売状況>

	9月単月		累計	
	本年函数	前年比	本年函数	前年比
黒ラベルブランド計	112	77	942	77
※黒ラベル単体	-	77	-	77
エビスブランド計	42	65	465	81
※エビス単体	-	77	-	83
麦とホップブランド計	87	87	606	86
※麦とホップ単体	-	84	-	86

(単位:万ケース、%)